

鑑賞と表現の関連性を重視した 効果的な音楽的能力の育成



山梨県
上野原市立秋山小学校

教諭 和智 宏樹

1

研究主題設定の理由

- 児童は音楽から聴き取ったことと感じ取ったことの関わりを捉え、音楽を表現したり味わったりすることで音楽の力を育む。
- 〔共通事項〕を学習の要とし、鑑賞と表現の学習を関連させて学習することで、効果的に学習することができる。
- 〔共通事項〕をより意識したり実感したりできるような指導を工夫することで、児童は必要感をもって学習活動に取り組むことができる。

2

研究の目的

- 〔共通事項〕を学習の要とし、「音楽的な見方・考え方」を働かせた授業の在り方を探る。
- 「主体的・対話的で深い学び」を授業改善の視点として、それぞれの領域で学習したことを互いに活用しながら音楽的な能力を育成できるような授業改善を目指す。

3

具体的な研究内容

- 題材のねらいを達成するための適切な教材設定
- 指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫
- 児童が生き生きと学習できる授業の工夫
- 豊かな学びのための対話と協働

を意識した授業展開

4

今年度の研究①-1

○題材のねらいを達成するための、適切な教材設定

・鑑賞と表現の関連・・・要素の焦点化

(2) 指導事項との関連

A 表現	(3) 音楽づくり ア (7)・イ (7)・ウ (7)
B 鑑賞	ア・イ
【共通事項】	(1) ア・イ
	本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素 ・締太鼓をはじめとする和太鼓や鉦、笛などの「音色」 ・我が国の音楽特有の「リズム」

全ての児童が思考判断のよりどころとしてほしい要素 = B基準の要素

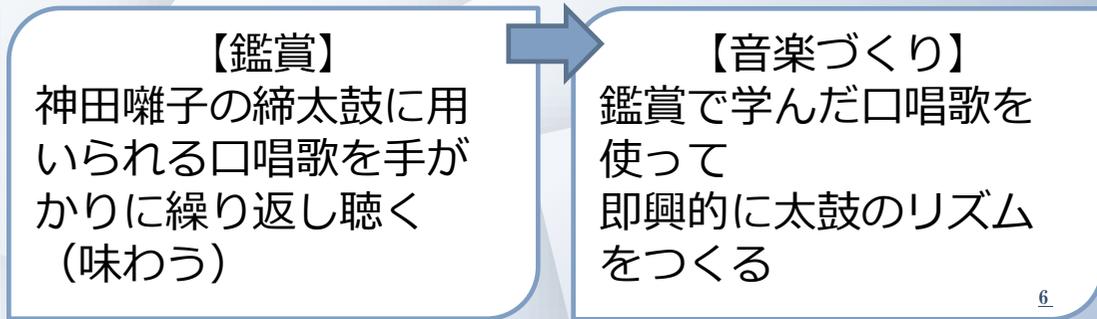
思考・判断・表現	
意①	我が国の音楽及び楽器の音色やリズムなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、それらの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。(鑑賞)
意②	我が国の音楽及び楽器の音色やリズムなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、即興的にリズムパターンのつくり方を工夫し、音楽づくりの発想を得ている。(音楽づくり)

今年度の研究①-2

○題材のねらいを達成するための、適切な教材設定

・鑑賞と表現の関連・・・口唱歌を手がかりとした

鑑賞→音楽づくり



今年度の研究①-2

○題材のねらいを達成するための、適切な教材設定

・鑑賞と表現の関連・・・口唱歌を手がかりとした

鑑賞→音楽づくり



今年度の研究②-1

○指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫

・評価計画

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価の観点		☆Aと判断する児童の状況例 ■個別な働きかけを要する児童への支援
		知・技	思・情	
	◎日本各地に古くから伝わる音楽や自分たちの住む地域の音楽を知り、その特徴について気付いたり、曲全体を味わって聴いたりする。 ○祭囃子の大きな特徴に気付く。 ・「祇園囃子」「ねぶた囃子」「神田囃子」の冒頭部分を聴き、「どこの国の」「どんな(時の)音楽」かについて想像する。 ・想像したことを交流しながら、曲の特徴についても話し合う。 ○祭囃子の特徴的な部分に焦点を当て、その特徴について気付く。 ・「祇園囃子」「ねぶた囃子」を中心に聴く。 ・クイズ形式、身体運動を伴いながらくり返し曲を聴き、特徴に気付いたり音楽に親しんだりする。 1 *何種類の楽器で演奏しているか 2 *楽器の音や声に注目し、真似をしながら ・気付いたことを全体で交流しながらまとめる。			①知 各楽器の音色やそれぞれの楽器のリズムパターンなどの特徴と曲想との関わりについて聴き取ったことや感じ取ったことが言葉や体の動きで明確に表れている。 ■興味をもった楽器やその音色、リズムパターンを具体的に尋ね、友だちの発言に對して似たような考えはないか確認したり、友だちの体の動きに注目して真似をするよう声をかけたりする。

今年度の研究②-1

○指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫

・評価計画

る。	○友だちとつなげ方を考え、表現を工夫する。 ・ペアになり、2人でリズムをつなげたり、交互にリズムを打ち合ったりする。 ・速度の変化やリズムパターンの特徴などを話し合いながら演奏する。 ・いくつかのペアが発表する。	②和技 ① ①	<p>☆複数の楽器や音色に注目しながら音楽を楽しみ、他の楽器や自分の住む地域の音楽と比べて聴いている。音楽の細かな部分についても音色やリズムといった要素を手がかりしながら粘り強く何度も音楽を聴き、音楽のよさや面白さ、美しさについて考えようとしている。</p> <p>☆友だちの演奏に興味をもちその表現を参考にしたり、既習事項を基にしたりしながら自分の表現をより良いものにしようと試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいる。</p> <p>■学習活動の一部でも（動けること、書けること等）できていることを認めながら意欲が高められるよう声かけすると共に、友だちの学習の様子の良いところを共有し、友だちの真似をしたりヒントにしたりすることも大切な学習であることを伝えながら学習を楽しむことができるよう支援する。</p> <p>■学習活動の楽しさのみに意識が向いてしまう場合には、学習のめあてについて再度確認する。</p>
4	○即興的な演奏の仕方を工夫し、我が国の音楽に親しむ。 ・つなげ方を話し合いながらいろいろな形で演奏し、即興表現を楽しむ。		

9

今年度の研究②-2

○指導と評価の一体化を目指した評価方法の工夫

・児童の表現の変容を見取るワークシート

おはやしにちょうせん！

名前 _____

テン テケ ツク ヤッ! ハッ!

1	テン	テケ	テン	ヤッ!	テケ	ヤ!	ツク	ハッ!
2	テン	ヤッ!	テン	ハッ!	テケ	ヤッ!	テン	ハッ!
3								

	テン	テケ	ツク	ヤッ!	ハッ!			
1	テン	テケ	テケ	テン	ツク	テン	テケ	ハッ!
2	ツク	テケ	ツク	テケ	テン	ツク	テン	ハッ!
3								

10

今年度の研究③-1

○児童が生き生きと学習できる授業の工夫

- ・即興表現までのスモールステップ
- ・児童が安心して思考・判断・表現できるように



11

今年度の研究③-2

○児童が生き生きと学習できる授業の工夫

- ・即興表現までのスモールステップ
- ・児童が安心して思考・判断・表現できるように

遊ぶ

試す

何度も

まずは、
条件を狭く

例) 「1つだけ変えてごらん」

その場の声かけ
(即時的な評価)

→他の児童へのヒント・安心

12